

特集

お同行訪問

ごんじにちは

(6)

お寺の各分野でお世話下さる方や、よくお寺にお参りされる方を訪ねて、質問に答えていただきました。

お尋ねしたこと

お参りのきっかけ
あなたの趣味
好きな言葉
今までに一番嬉しかったこと
念仏の友に何かひとこと
その他何でも自由に

別れを縁として



嘉久志町 牛尾典子さん
(昭和15年生れ)

お参りのきっかけ
子供の頃はお参りする所といふより、友達と夕方の鐘がなるまで遊ぶ場でした。きっかけは主人と息子の死を縁として、浄光寺門徒世

話人の役をお引き受けし、浄光寺仏婦会報「まなざし」の編集の一員としてお手伝いさせていただく様になってからです。

あなたの趣味

ジヨキング ウォーキング(パソコン)
好きな言葉
泣いて暮らすも一生、笑って暮らすも一生 楽しく生きましよう)

一番嬉しかったこと

疎遠だった姉姉と、母の死を縁に毎年一回会えるようになった事。

お念仏の友にひとこと

お聴聞しましよう。奉仕活動(清掃 台所 おだんご作りのお莊嚴)等にも進んで参加しましよう。

その他何でも自由に

ジヨキング始めませんか。あの方から「行動を起こさないと何も始まらないよ」と背中を押されてジヨキング始めて



都野津町 花手 勉さん
(昭和16年生れ)

母に連れられて

から八ヶ月目になります。おかげさまで持病のぜん息も出ず、元気に毎日過ごすことが出来るようになり感謝しています。今の私の元気を皆さまにお裾分けしたい気持ちです。

お参りのきっかけ

母に連れられ都野津説教所にお参りしたのが五才の時です。日曜学校に通い、目蓮尊者という方の話を聞いたことを覚えています。千田浄光寺へは、今思えば永代経に母に連れられ一緒にお参りしたことが縁。今は懐かしく当時を偲びながらお参りさせて頂いています。

あなたの趣味

つり。
下手ですが、文字を書くことが好きです。

好きな言葉

好きなことばは沢山あります。今は宗教上の言葉で、「佛法の上からは人の命は、明日あるまじき」
「仏法を聞くことはいかにも急いで」ということば。

一番嬉しかったこと

妻が三人の子供を出産、その都度母子とも元気な顔を見たとき。浄光寺本堂平成大修復落慶法要十八代法灯継承法要のお手伝いをさせて頂いたこと。

お念仏の友にひとこと

私は喜びごころ、感謝の称名念仏をもっと大きな声で称えるように心がけています。皆さんも輝きはばからず挑戦してみませんか。

その他何でも自由に

他宗教の訪問勧誘に困惑苦慮されておられませんか。玄関のお断りの張り紙だけで安心なさらずに。私は自分が浄土真宗門徒のたしなみを深め、今一度初心にかえって聴聞することが大切だと思えます。

ごんじにちにあいたい



都野津町 花手陽子さん
(昭和19年生れ)

お参りのきっかけ

なんと言っても主人の両親のご法義な姿です。子育て頃は大阪に住んでいましたので、京都本願寺参りによく行きました。

あなたの趣味

一期一会のシャッターチャンヌ：カメラ。
銭太鼓：はまってる歴二年です。

好きな言葉

のたま、きょうも いちにち ありがとうごさいます
一番嬉しかったこと
結婚！でも、よろこびもつらいことも幾年月)

お念仏の友にひとこと

ともに縁にあいたいです
その他何でも自由に
「たまわったいのち」
父母に感謝し、いとおしく思っています。
(花手勉さんは「主人です」)



お仏壇は死者を祀る所？

お仏壇を安置する意義



人口の流動化や核家族化などの社会情勢の変化によって、最近では、何世代にもわたって同じ家に住むことがめっきり減り、次々と新しい家が建ち、また引越しも頻繁に行われています。そうして移り住んだ家には、特に若い世代を中心に、昔ほどの家にも必ずあったお仏壇が、安置されていないケースが増えています。

「なぜ、お仏壇がないのですか」と尋ねてみると、「けげんそうな顔で「まだ誰も死んでいませんから…」とか「仏壇はいなかにありますから…」といった言葉が返ってきます。

「誰も死んでいない」とは考えてみれば妙な話で「私」につながる数限りない「先祖の方が死んでいったはず」それはさておき、「いつした言葉の裏には、お仏壇が、いま生きている家族の誰か

が死んで初めて必要になるものであり、ご先祖にしても、子孫の誰か一人多くの場合、長男(が「面倒を見れば」事足り、といった認識があるようです。さらに言えば、お仏壇は「死者や先祖をおまつりするのためのもの」と思っているのです。しかし、はたしてそうでしょうか。

お仏壇は生きている 私のためにある

お仏壇というのは、文字通り「仏さまをご安置する壇」のことです。仏さまとは、言つまでもなくご本尊である阿彌陀仏(如来)のこと。ちよっとしたことにとだわり、悩み、自己を見失いがちになる私をしっかりと抱きとめて、けつして崩れることのない安らぎを与えて下さる阿彌陀さまです。お仏壇は、そうした私の心の依り所となり、家庭の精神的基盤となつて下さる阿彌陀さまをご安置するために設けるのです。

いじめ、家庭崩壊など心の問題が山積している昨今、家族そろって阿彌陀さまに手を合わせる事が、どれほど心豊かな家庭生活につながるかわかりません。ですから「いなかにあるから…」とか「長男だけでよい」とか言わず、独立した家庭であれば、必ずお仏壇を安置するようにして下さい。

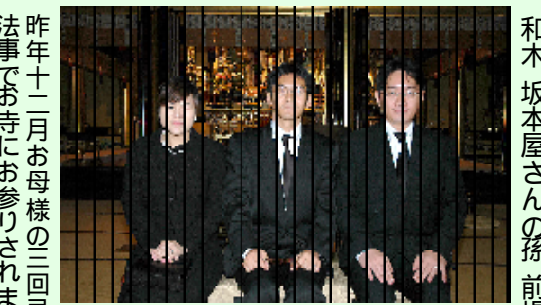
「仏事のイロハ」末本弘然著より

離郷門信徒のレター

本当の居場所ってどこ？



一月十三日 本願寺大谷本廟にて
本明上鈔 佐々田澄さん親子と兄弟(堺市・山形県・福島県在住)
都野津広島屋親戚 木下隆司さん(伊丹市在住)



和木坂本屋さんの孫前場さん
長男 前場敏治さん(西宮市在住)
三男夫婦(宮崎県在住)



渡津 久代幸博さん(岩国市在住)
昨年十月本願寺念仏奉仕団に参加されました。